

長野県消防協会の新しい体制

平成 30 年 6 月 4 日付



評議員
須賀 真孝
(前小川村消防団長)



評議員
下起 公平
(前大桑村消防団長)



評議員
滝澤 稔
(元駒ヶ根市消防団長)



評議員
千葉櫻 政彦
(元佐久市消防団長)



評議員
柿沢 照紀
(県消防協会参与)

評議員



副会長
片山 真
(小谷村消防団長)



副会長
宮下 和博
(飯田市消防団長)



副会長
塩川 浩次
(小諸市消防団長)



副会長
武井 郁郎
(千曲市消防団長)



会長
古村 幹夫
(辰野町消防団長)

役員



理事
北原 政一
(伊那市消防団長)



理事
足立 孝幸
(茅野市消防団長)



理事
町田 佳彦
(東御市消防団長)



理事
小林 淳
(佐久市消防団長)



理事
新井 一朋
(小海町消防団長)



常務理事
吉原 英樹
(長野県危機管理部消防課長)



理事
田中 敏勝
(須坂市消防団長)



理事
長谷川 修
(坂城町消防団長)



理事
切久保 達也
(白馬村消防団長)



理事
寺島 慶次
(生坂村消防団長)



理事
寺嶋 英治
(大桑村消防団長)



理事
勝野 真也
(阿智村消防団長)



監事
青木 弘
(長野県市長会事務局長)



監事
湯本 隆男
(小布施町消防団長)



監事
清水 正
(下諏訪町消防団長)



理事
明石 洋一
(飯山市消防団長)



理事
高木 芳博
(長野市消防団長)

第1回理事会

平成30年度第1回理事会を、5月18日(金)長野市のホテル犀北館で開催しました。

平成29年度事業報告及び歳入歳出決算について説明の後、中村監事から5月10日(木)に行われた監査結果の報告があり、いずれも原案どおり承認され評議員会に提案することが決定しました。その他、評議員会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、業務執行理事の職務代行順について、それぞれ決定されました。報告事項に続き会議事項では、長野県と公益財団法人長野県消防協会の共催による第60回長野県消防ポンプ操法大会・第27回長野県消防

ラッパ吹奏大会が実施要綱により7月22日(日)大桑村で開催する原案が了承されました。また、第10回長野県消防団長・事務担当者研修大会を実施計画により開催することが了承されました。



第1回理事会 5月18日(金)

平成29年度歳入歳出決算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

(単位:円)

I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
基本財産等運用収入	6,906,000
事業収入	6,428,966
補助金等収入	10,833,557
雑収入	2,939,656
事業活動収入計	27,108,179
2 事業活動支出	
事業費支出	17,357,231
機関紙発行事業費	301,320
予防宣伝対策事業費	216,957
教養訓練事業費	11,217,455
表彰事業費	3,007,066
弔慰救済事業費	2,614,433
管理費支出	11,127,493
事業活動支出計	28,484,724
事業活動収支差額	△ 1,376,545
II 投資活動収支の部	
1 投資活動収入	0
投資活動収入計	0
2 投資活動支出	160,000
投資活動支出計	160,000
投資活動収支差額	△ 160,000
III 予備費支出	0
当期収支差額	△ 1,536,545
前期繰越収支差額	7,374,455
次期繰越収支差額	5,837,910

平成29年度事業報告の後、歳入歳出決算について説明、河西監事から監査結果の報告があり、原案どおり議決されました。次に、任期満了による新しい理事及び監事が選任されました。

定時評議員会



定時評議員会 6月4日(月)

6月4日(月)平成30年度定時評議員会を長野市のホテル犀北館で開催しました。本年度第1回理事会において承認された

第2回理事会

定時評議員会と同日の午後、新しい理事による改選後初の理事会(平成30年度第2回理事会)を開催しました。

まず、会長の選定を行った結果、古村理事(辰野町消防団長)が会長に選定されました。次に、副会長に、武井理事(千曲市消防団長)、塩川理事(小諸市消防団長)、宮下理事(飯田市消防団長)、片山理事(小谷村消防団長)が選定され、業務執行理事に武井副会長が、常務理事に県消防課長の吉原理事が選定されました。そのほか、業務執行理事の職務代行順、参与の推薦について決定されました。なお、参与については高橋前会長が推薦されました。



第2回理事会 6月4日(月)

ラッパ講習会

ラッパ講習会を 4 月 21 日(土)に長野県消防学校で開催し、190 名が参加しました。矢島副会長の挨拶の後、「規律の部、確認事項」について消防学校の岩淵昌昭准教授から講義をいただきました。また、「指導者・チームリーダーに望まれること」について消防学校ラッパ科の田中春洋講師から講義をいただき、実際に全員で消防ラッパを吹奏しながら、よい音づくりに必要な呼吸法やロングトーンなどの練習を行いました。



ラッパ講習会 4 月 21 日(土)

副団長講習会

副団長講習会を 6 月 9 日(土)中南信地区は下諏訪町で 50 名、23 日(土)東北信地区は長野県消防学校で 37 名が出席し開催、合わせて 87 名が参加しました。地元副会長の挨拶の後、午前中は「長野県の消防防災行政」について長野県危機管理部消防課の佐藤稔主事から、「地域防災力充実強化」訓練礼式について消防学校の相馬敦志准教授から講義をいただき、午後は「現場指揮訓練」として、相馬准教授の指導のもと、救助用資器材の取扱・無線運用訓練を行いました。



副団長講習会 6 月 9 日(土)

「信濃の国」県歌制定 50 周年

5 月 20 日、「信濃の国」が県歌に制定されて 50 周年を迎えました。

信濃の国とは・・・

「信濃の国」は、1899 年(明治 32 年)に長野県師範学校教諭の浅井^{きよし}湧が作詞、翌 1900 年(明治 33 年)に同校教諭の北村^{すえはる}季晴が作曲しました。

1900 年(明治 33 年) 10 月に行われた師範学校の運動会で女子部生徒の遊戯(今でいえばダンス)に使われたのが「信濃の国」が初めて披露された場であるといわれています。

その後、師範学校の卒業生が県内の学校で生徒に教えたことにより各地に広がり、歳月を経て、親から子へ、子から孫へという形で歌い継がれてきました。

そして、1966 年(昭和 43 年) 5 月 20 日、県歌に制定されました。

この 50 周年を契機に、より一層歌詞やメロディに親しみ、次の世代に歌い継いでいきましょう。



長野県 PR キャラクター「アルクマ」
© 長野県アルクマ